

# 七小・特別活動通信

令和2年3月24日  
国立市立国立第七小学校  
校長 大山 紀子  
特別活動部 第3号

今年度の3学期は、予定していた6年生を送る会や最後のたてわり班活動が、臨時休業措置のためにできなくなってしまいました。でも、休業が決まった次の日に、6年生への「ミニサプライズ送る会」を行うことができました(右ページ参照)。1～5年生の子供たちの気持ちがいっつも以上に凝縮されて、6年生に届いたと思います。

1月、2月には、お正月遊びやクラブの発表会等をし、学年を越えて関わり合い、楽しい時間を過ごすことができました。今まで、6年生から下級生に伝えてきたもらったものを、下級生はしっかりと受け止め、七小のよい伝統が引き継がれるようにしていきます。

## 七小では特別活動を通して

- ☆いろいろな人たちと協力したり行動したりすることで、よりよい集団活動ができるようになる
  - ☆問題を見付けたり、それを解決したりすることができるようになる
  - ☆自主的に行動して、今よりもっとすてきな自分になれるようになる
- 以上3つのことを目標に活動しています。

### ①ユニセフ募金活動



代表委員の子供たちが集会でユニセフ募金の必要性について全校に話をしました。それを受けて、多くの子供たちが賛同し、ご家庭の支援もいただき、今年度は、60,015円の募金が集まりました。子供たちが、世界のことに関心をもつきっかけになりました。

### ②クラブ活動

クラブ活動は、6年生が計画を立て、それに沿って下級生たちと楽しく活動することができました。「クラブ発表会」でそれぞれのクラブが1年間の成果を発表し、1年間の活動を劇や実演で紹介しました。来年度のクラブについては、5年生が中心となり8つのクラブが設立される予定です。どのような活動が行われるのか、子供たちも教員も楽しみにしています。



### ③異学年交流（たてわり班活動）

たてわり班活動は、異学年と協力して活動することの楽しさを感じることを目的とし、1～6年生を24の班に分け、活動してきました。特に3学期は、お正月遊びを1時間かけて行い、生き生きと楽しい表情の子供たちの姿がみられました。



最後の3月のお別れ給食、お別れたてわり遊びはできませんでしたが、6年生から5年生へのたてわり班長の引き継ぎはしっかりできました。



### ④6年生への「ミニサプライズ送る会」

6年生～！



急遽、2月28日(金)昼休み、校庭から、5年生の実行委員を中心に、「6年生～！」と呼びかけ、サプライズが始まりました。6年生への「ありがとうございましたー！」全員の呼びかけ、くす玉割り、全員で校歌を歌う時間をもちました。短い時間でしたが、想いは届いたと思います。今年度、全員で歌う最後の校歌になりました。

